

今月の視点

G7 広島サミット 2023

理事 國近 尚美

2023年5月19日～21日、広島市においてG7サミットが開催された。G7として岸田総理大臣（日本、議長）、メローニ首相（イタリア）、トルドー首相（カナダ）、マクロン大統領（フランス）、バイデン大統領（アメリカ）、スナク首相（イギリス）、ショルツ首相（ドイツ）、EUのミシェル欧州理事会議長、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長が出席した。招待国として、オーストラリア、ブラジル、コモロ（アフリカ連合（AU）議長国）、クック諸島（太平洋諸島フォーラム（PIF）議長国）、インド（G20議長国）、インドネシア（ASEAN議長国）、韓国、ベトナムが参加し、ゲスト国としてウクライナのゼレンスキー大統領が出席した。

以下の9つのセッションにおいて議論された。
セッション1「分断と対立ではなく協調の国際社会へ/世界経済」

セッション2「ウクライナ」

セッション3「外交・安全保障」

セッション4「パートナーとの関与の強化（グローバル・サウス、G20）」

セッション5「経済的強靱性・経済安全保障」

セッション6「複合的危機への連携した対応」

セッション7「持続可能な世界に向けた共通の努力」

セッション8「ウクライナ」

セッション9「平和で安定し、繁栄した世界に向けて」

ゲスト国としてウクライナのゼレンスキー大統領がサプライズ来日し、ウクライナ支援策などに

ついて各首脳と対面で議論された。

G7首脳及びゼレンスキー大統領は原爆資料館を見学し、平和記念公園の原爆慰霊碑に献花した。その結果として、「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発出された。広島ビジョンから抜粋すると、「我々が望む世界を実現するためには、その道がいかに狭いものであろうとも、厳しい現実から理想へと我々を導く世界的な取組が必要である。この点に関し、我々は、軍縮・不拡散教育やアウトリーチの重要性を強調する。我々は、広島及び長崎で目にすることができる核兵器使用の実相への理解を高め、持続させるために、世界中の他の指導者、若者及び人々が、広島及び長崎を訪問することを促す。この目的のため、我々は、日本による『ユース非核リーダー基金』、P5の『ヤング・プロフェッショナル・ネットワーク』、ドイツにより資金提供された『軍縮のための若者チャンピオン』及びEU不拡散・軍縮コンソーシアムが設立した『若い女性たちによる次世代イニシアティブ』などのイニシアティブや、軍縮・不拡散のプロセスへの市民社会の関与に加え、女性の完全で、平等で、意義ある参加を支援する他のイニシアティブを歓迎する。」と結ばれている。

岸田首相は核軍縮・不拡散に関し、「核不拡散条約（NPT）の維持・強化を図ることこそが、『核兵器のない世界』を実現する唯一の現実的な道」と表明した。しかしながら、核兵器禁止条約については言及がなく、引き続き今後の課題となっている。

保健領域に関しては、2016年に日本で開催さ

れた伊勢志摩サミットにおいて、薬剤耐性（AMR）対策の強化などを盛り込んだ「伊勢志摩首脳宣言」が発表されている。AMR対策では、抗微生物剤を合理的に使用するとともに、安全かつ効果的で品質が保証された薬剤へのアクセスを確保することなどが明記された。

今回の広島サミットにおいては、以下のように言及されている。「我々は、COVID-19のパンデミックが国際社会に前例のない影響を与えたことを認識し、パニックと無視の連鎖を断ち切るため、将来の公衆衛生上の緊急事態に備え、世界保健機関（WHO）を中核としつつ、グローバルヘルス・アーキテクチャー（GHA）を発展させ、強化することへの強いコミットメントを新たにす。この目的のために、我々は、WHOの主導的役割を強調しつつ、重複を回避し一貫性を確保するため、パンデミックへの対応に関する新たな法的文書（WHO CA+）、国際保健規則（IHR）の部分改正及び2023年9月のパンデミックの予防・備え・対応（PPR）に関する国連総会ハイレベル会合を含む進行中の議論に留意しつつ、正当性、代表性、公平性及び有効性を確保する、保健分野の緊急事態のPPRのための、より協調的で持続的な首脳級のガバナンスに向けた政治的モメンタムを更に高めることにコミットする。（中略）我々は、薬剤耐性（AMR）の世界的かつ急速な拡大を認識しつつ、2024年のAMRに関する国連総会ハイレベル会合に向けて、抗菌薬の研究開発を加速させるためのプッシュ型及びプル型のインセンティブを探求し、実施するとともに、抗菌薬へのア

クセス及び抗菌薬を慎重かつ適切に使用するための管理を促進することに引き続きコミットしている。我々は、認知症を抱える人々をケアするための政策及び資金投入を推進し、アルツハイマー病を含む様々な種類の認知症に対する疾患修飾の可能性のある治療薬の開発を歓迎する」とまとめられている。

その他、ウクライナ問題、核軍縮・不拡散、食料問題、気候変動、環境、エネルギー、世界経済・金融、持続可能な開発、AI活用と制御問題、インド太平洋などの地域情勢などの多くの課題について議論が交わされた。ウクライナ支援など進展した議題もあったが、議論が深まらず今後の課題が明らかになったテーマも多くあった。

法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持していく大切さを世界に向けてメッセージとして発信すること、グローバル・サウスとの関与を深めることは、広島サミット開催の2つの重要課題であり、それらを果たすことができたとと思われる。その点においては、一定の成果を上げることができ、成功裡に終了したと感じられたサミットであった。

多くの先生方にご加入頂いております！


詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

**お申し込みは
随時
受付中です**

医師賠償責任保険
所得補償保険
団体長期障害所得補償保険
傷害保険

取扱代理店 山福株式会社
TEL 083-922-2551

引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-231-3580



損保ジャパン